

○令和8年度以降の施設活用・事業推進予定

施設活用予定・事業推進予定	外部有識者からの御意見
<p>キャンパススペースを活かした滞在型グリーンツーリズムの拠点施設として、市内農業の情報、魅力発信に努める。</p> <p>○施設集客</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・都市住民に対して、農のある生活を楽しむ場を提供し、様々なニーズに応える施設集客に向けた体験プログラムの充実。</li><li>・キャンパススペースが新設されることによって、余暇を過ごす市民等に対して、現状行っていない早朝や夕方以降の農体験を行う特別なプログラムの提供。</li><li>・校外学習として、キャンパススペースを利用し農体験を合わせて行うことによる、農産物への興味、知識・学びを提供するプログラムの実施。</li></ul> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市内農家の庭先販売や農産物直売所の情報や農産物の魅力を、施設利用者に対して訴求するようなPRの実施。</li><li>・文化庁「食文化ミュージアム」の認定を受けている本拠点施設で、川越の伝統的な食をキャンパススペース滞在者等に提供することによる、新しい体験の創出。</li></ul> <p>これらを達成するため、既存の体験農園や館内施設等を複合的に活用した多彩なプログラムの実施や、キャンパススペースの整備に伴う滞在時間の延長による新しい体験機会の創出を図り、施設利用者数の増加、農業関連観光消費額の増加を目指す。</p>	<p>○施設集客</p> <p>【交通アクセス】自家用車での来場が想定されるが、観光滞在時間延長や道路混雑を避けるため、施設までの交通手段の検討が必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・農体験を楽しみたい定年後のシニア層も意識した、施設までの「足」の確保が重要なポイントとなる。</li></ul> <p>【プログラム内容】異なるターゲットのニーズを満たす、プログラムの構築が求められる。また、農業体験やキャンプは、季節や天候の影響を受けやすいため、悪天候時等、状況に応じたプログラムの準備も必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業を対象にした研修、レクリエーションでの活用の場合は、新入社員向けの農業体験や親睦会、社員の家族との交流会に活用するのはいかがか。</li><li>・小中学生向けのプログラムは、将来のリピート率向上にもつながるのではないか。近年発展しているスマート農業（ドローンや自動運転トラクター等）についても体験や、デモを行うことで、農業への魅力を発信し、興味の醸成に繋げるのはどうか。</li></ul> <p>【他の主体との連携】交通の便が悪いため、伊佐沼公園、周辺のホテルや温泉施設、カフェ、問屋街など、利害の一致する点と点を結びながら、互いに相乗効果を発揮できるよう模索し、周辺地域一帯が活性化する試みも不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・将来的には観光集中場所から本施設の導線を活かした新たな事業（産業）発掘の可能性も内包していると考える。</li><li>・川越という立地条件を活かし、キャンプ用品メーカーとのコラボも有効と思われます。メーカーからの用具提供や協賛金収益も期待できると思われます。</li></ul> <p>【農業とのふれあい】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・川越名産のサツマイモを活かし、収穫体験に加え、焼き芋体験なども提供してはどうか。</li></ul> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インスタ、Facebook、Xなどターゲット層が利用しているSNSで、美しい写真や短い動画などキャンプやグリーンツーリズムの魅力を視覚的に発信してはどうか。</li><li>・都心での川越の特産物の販売等と併せた、本施設の情報発信も有効と考える。</li><li>・施設利用者へのPRはもちろんのこと、将来的な移住・定住のきっかけ創出とするため、子育て世代やリモートワークが可能な層に対して、川越の農の魅力や自然豊かな環境の魅力を訴求することもよいと考える。</li><li>・文化庁「食文化ミュージアム」食の発展・情報発信施設に認定されている利点や認定を受けているPR等を積極的に発信し話題性を創出させ、川越に訪れる多くの観光客の吸収を本施設で行うことの意義は大きいと考える。観光の時間的・場所的集中の分散にもつながるのではないか。</li></ul>

○外部有識者からの御意見を踏まえた対応

対 応
<p>外部有識者からいただいた御意見を踏まえ、グリーンツーリズム拠点施設の指定管理者募集の際、以下を示した。（令和8年度からは、キャンパススペースを含めた指定管理による施設運営を行う予定。）</p> <p>【管理運営基準において「実施を求める取組」】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大人の学びにもなる「知的レクリエーション」をコンセプトとした体験事業の実施</li><li>・文化庁の食文化ミュージアムの認定を受けていることを活かした農と食の魅力と文化の体験の実施</li><li>・SNSを活用した情報発信の実施</li></ul> <p>【市が期待している指定管理者による自主事業の例】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中心市街地や最寄り駅からグリーンツーリズム拠点施設までの送迎サービス</li><li>・伊佐沼公園等の近隣施設との連携や中心市街地といった周辺施設等との連携 等</li></ul>